

全日中事務局だより

■令和元年度教育23団体全国集会在が以下のとおり開催され、アピール文が採択されましたので報告します。

○集会名称 子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現と学校における働き方改革のための指導・運営体制の構築等を求める全国集会

○趣旨 参加者において「子供一人一人に対するきめ細かな教育の実現と学校における働き方改革のための指導・運営体制の構築を求めるアピール」を採択し、政府及び関係国会議員等に対し、計画的な教職員定数の改善や教育関係予算の拡充等を要請する。

○主催 子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会（教育関係23団体）

○日時 令和元年10月9日（水）5時30分から6時30分まで

○会場 参議院議員会館講堂

○参加者 教育関係者及び本集会の趣旨に賛同される国会議員総計約350名

○集会内容

・開会（司会）全日本中学校長会

・総務部長 宮澤一則

・教育関係団体代表挨拶

・日本PTA全国協議会

・会長 佐藤秀行

・来賓ご挨拶

・文部科学大臣 萩生田光一 様

・各党代表挨拶

・衆議院議員自由民主党

・教育再生実行本部長 馳 浩 様

・衆議院議員公明党

・党文部科学部会長 浮島智子 様

・参議院議員立憲民主党

・参議院文教科学委員会筆頭理事

・水岡俊一 様

・衆議院議員国民民主党

・幹事長 平野博文 様

・参議院議員日本維新の会

・文教科学委員 松沢成文 様

・衆議院議員社会民主党
・幹事長 吉川 元 様

○主催者代表の紹介

○アピール文の提案

○全国連合小学校長会会長 喜名朝博

○アピール文 満場一致で採択

■採択されたアピール文

子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現と学校における働き方改革のための指導・運営体制の構築等を求めるアピール

次代を担う子供たちの健やかな成長は、すべての大人たちの願いであり、子供たちが全国どこに生まれ、どんな家庭環境で育ったとしても、等しく良質な学校教育を受けられるようにすることは、私たち大人、そして国の責務です。高い水準の豊かな教育を実現するためには「教職員の資質の向上と数の充実」が不可欠です。とりわけ、近年、学校や子供たちを取り巻く状況は、ますます複雑化、多様化、困難化しております、学校における働き方改革は急務となっております。こうした状況に対処す

るためには、新学習指導要領の実施を見据え、教職員の指導・運営体制の充実を強く推進するとともに、教員以外の人材の活用と業務改善の取組を一体的に推進し、チーム学校が機能する体制を整備していくことが非常に有効な手段であると考えます。

今必要なのは、日本の未来を担う子供たちの力をきめ細かな指導によって育てるための持続可能な学校の指導・運営体制の構築と、そのための教育投資です。

加えて、小・中学校のみならず、高等学校、特別支援学校等のあらゆる学校の教育環境の改善を実現し、より一層の良質な教育を子供たちに約束することが、私たち教育に携わる者の責務であります。

以上のことを踏まえ、私たちは日本のすべての人々に、次の事項の実現を強くアピールします。

一、子供たち一人一人に向き合ったきめ細かな教育の実現及び新学習指導要領の円滑な実施に向けた対応とし

て、小学校における専科指導の充実、中学校における生徒指導や支援体制の強化、貧困等に起因する学力課題の解消など計画的な教職員定数の改善を進めるとともに、令和二年度予算においては、これらに必要な人的措置・財政措置を確実に行うこと。

一、教育現場が抱える様々な課題への対応や教員の負担軽減による教育の質の向上を図るため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置促進やSNS等を活用した相談事業を推進するとともに、スクール・サポート・スタッフや部活動指導員の配置促進を進めること。また、東日本大震災をはじめとする地震や豪雨などの自然災害により被災した児童生徒のための教職員やスクールカウンセラーによる支援を今後も継続的に行うこと。

一、学校のICT環境を改善し、より一層の質の高い教育活動を実現するため、一人一台の学習者用コン

ピュータ及び学校における高速かつ大容量の通信ネットワークの整備を進めること。

一、意欲と情熱をもって教育に取り組む優れた教職員を確保するため、人材確保法の趣旨をふまえた措置とともに、教育の機会均等とその水準の維持向上を図るため、その根幹となる義務教育費国庫負担制度を堅持すること。また、地方財政を圧迫し、人材確保に支障を生じたり、地域間格差が生じたりすることのないよう、義務教育費国庫負担金及び地方交付税の財源確保を行うこと。

一、教育投資は未来の日本への先行投資であり、国の最重要事項であることから、右に掲げる諸方策の実現にあたっては、既存の教育予算の削減や付け替え等によるのではなく、計画的・安定的な財源確保を行うこと。令和元（二〇一九）年十月九日

子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会

（事務局長 松澤 宏尚）